

5 地域の理解促進・合意形成に向けた取組

5 地域の理解促進・合意形成に向けた取組

(1) 基本的な考え方

横浜市では、「共感と信頼」を市政運営の基本としています。

『横浜IR』についても、丁寧に市民の皆様と向き合い、理解を深めていただき、その実現に「共感と信頼」が得られるよう、理解促進・合意形成に向けて、取り組んでいきます。

取組の方向性

- 1 世代や生活環境などにより、IRに対するご理解や考え方が異なることが想定されることから、それぞれのご関心・問題意識に応じた内容をお伝えしていきます。
- 2 ライフスタイルなどによって、情報の入手の方法は多様であるため、市民の皆さまが無理なく必要な情報を得られるよう、様々なツールを使って、お伝えしていきます。
- 3 今後、IR事業者の公募、区域整備計画の認定申請など、事業の進捗段階に応じて、必要な情報をお伝えしていきます。



5 地域の理解促進・合意形成に向けた取組

(2) 広報計画

それぞれのご関心・問題意識に応じた取組（イメージ）

対象例	想定される疑問	メッセージ	主なツール
市民全体	IRって何？ 必要あるの？ 何のために誘致するの？	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 世界最高水準のリゾート ▶ 将来の横浜を豊かにするものであること <p>などをお伝えしていきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報よこはま ・ 市民説明会 <p>など</p>
子どものいらっしゃる方など	自分や子どもたちが安全・安心に過ごせなくなるのではないかと？	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 依存症や治安への徹底した対策により、安全・安心に過ごすことができること ▶ 子どもたちが更に豊かに暮らすための取組であること <p>などをお伝えしていきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ テレビ ・ 雑誌 ・ ウェブサイト ・ SNS <p>など</p>
若い方々など	カジノに興味があれば関係ないでしょ？	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ご自身で楽しめる世界水準のリゾートであること ▶ 質の高い魅力的な職場が創出されること <p>などをお伝えしていきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ウェブサイト ・ SNS ・ 大学等での講義 ・ 電車等広告 <p>など</p>
お仕事をされている方など	外国企業が儲けるだけじゃないのか？	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 食材や物品・サービス等の市内企業からの調達 ▶ 大きな賑わいが創出され、市内全体の宿泊、飲食客などの増加 <p>など様々なビジネスチャンスが生まれることをお伝えしていきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新聞 ・ セミナー ・ ウェブサイト ・ SNS <p>など</p>

5 地域の理解促進・合意形成に向けた取組

(3) 市民説明会

令和元年12月から令和2年2月にかけて、横浜市がI Rの誘致に至った理由、I Rの内容と効果などについて市内12区で市長自ら説明を実施しました。

- | | |
|--------------|------------|
| ▶ 令和元年12月4日 | 中区市民説明会 |
| ▶ 令和元年12月9日 | 神奈川区市民説明会 |
| ▶ 令和元年12月14日 | 西区市民説明会 |
| ▶ 令和元年12月19日 | 金沢区市民説明会 |
| ▶ 令和元年12月21日 | 鶴見区市民説明会 |
| ▶ 令和元年12月26日 | 磯子区市民説明会 |
| ▶ 令和2年1月17日 | 南区市民説明会 |
| ▶ 令和2年1月20日 | 旭区市民説明会 |
| ▶ 令和2年1月23日 | 保土ヶ谷区市民説明会 |
| ▶ 令和2年1月28日 | 港南区市民説明会 |
| ▶ 令和2年2月11日 | 緑区市民説明会 |
| ▶ 令和2年2月14日 | 港北区市民説明会 |

説明会では、参加した市民の皆様から質問をいただき、会場でお答えするとともに、回答をまとめ、市ホームページや市民情報室等で公表しました。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催が予定されていた6区（戸塚区、都筑区、栄区、青葉区、瀬谷区、泉区）のI R（統合型リゾート）市民説明会については、令和2年7月から、動画の公開により代替しています。

今後も実施方針の策定や事業者の決定などの機会を捉え、より具体化した施設計画、経済効果、懸念事項対策等について、説明会や広報よこはま、広報動画などを通じて、事業の節目ごとに、丁寧な説明を継続していきます。